



みどりの風

目次

2012 年度「フレンズ・TOHO」役員会・定期総会を開催 魅力ある事業計画の推進計画を承認	2 頁
12 年～ 13 年度 役員構成	3 頁
2011 年度事業報告・収支報告	4・5 頁
2012 年度事業計画・予算	6・7 頁
「混迷する世界・日本経済から —企業経営の知恵を読む—」 安保 邦彦	8—9 頁
校舎耐震化工事	9 頁
「ボランティア活動の役割」 岡部 一明	10—13 頁
「バトン部の生徒ともに ボランティア活動に参加して」 中橋 杏奈	13—15 頁
これからのフレンズ企画	16 頁
2012 年度 フレンズ定期総会 記念講演 「みんなの命輝くために —東日本大震災から 1 年 3 ヶ月・日本—」 大谷 昭宏	17—18 頁
フレンズ法人会員紹介 名鉄観光サービス株式会社	19 頁
自然と親しむ会 もう一度春を探しに	20 頁
編集後記	20 頁



題 字：森井勝也、土 雛 (写真)：松原康廣
コメント「根羽村で撮影。歴史の重みと力強さを感じます」

2012年度

「フレンズ・TOHO」役員会・定期総会を開催
“魅力ある事業計画”の推進計画を承認

2011年度、本会員数は設立以来最高となりました。この新たに加入いただいた会員の皆さんに「魅力を感じていただける企画を推進したい」と事業計画が提案され、承認されました。

定期総会で
遠山昌夫氏が会長に再任

6月22日(金)、本会顧問 内藤 明人氏(リンナイ株式会社社長)、名誉会長 榎 直樹氏(学校法人東邦学園理事長)、フレンズ会長 遠山昌夫氏(菊水化学工業株式会社最高顧問)を含む30名の参加のもと、名古屋観光ホテルにおいて12時30分から14時まで理事会、評議員会が合同で開催されました。

役員会では、2012～2013年度の新役員が承認されたほか、事業報告並びに決算と監査報告(速水監査役)がなされました。また、事業計画と予算についても事務局長から報告され、異議なく了承されました。

「各種研修や企画などの事業には、何名が参加されたのかがわかるようデータも合わせて報告してほしい」、「事業計画を実現させる目標をもった予算を組んでほしい」との意見がありました。

会員の拡大にあたっては、「個人会員の勧誘に



再選された遠山会長の挨拶

ついても力を入れ、卒業生や父母にも積極的に働きかけてほしい」との要望がありました。

— 記念講演 —

大谷 昭宏氏 (ジャーナリスト)



2時30分から開催された記念講演は、「みんなの命輝くために — 東日本大震災から1年3か月・日本一」と題し、大谷氏が90分にわたり講演をされました。(名古屋観光ホテル3階 那古)

講演会は、大堀 道之氏(フレンズ評議員)の司会により進行されました。阪神淡路大震災と3.11 東日本大震災を取材された大谷氏は、「困難だが、自然が美しい日本」を「次の世代に引き継いでゆかねばならない」と今を生きる大人たちへ強力なメッセージを送っていただきました。

大谷氏は関西を地盤に活躍されていますが、名古屋のTV局にも出演されており、知名度も抜群です。フレンズ会員と一般の方、愛知東邦大学学生ら、150名が熱心に講演に耳を傾けました。(関連記事 17, 18 ページ)



智と知をコーディネートする。

生きた情報を発信する 総合広告代理店
株式会社 **三美通信**

全国新聞 雑誌 電波 イベント 出版・デジタルコンテンツ etc.
●名古屋支社 〒464-0075 名古屋市中区区内山3-8-16 TEL 052 (741) 047110
●東京本社 ●札幌支社 ●仙台支社 ●大阪支社 ●広島支社 ●福岡支社

ビルを、まるごと、心地よくする。
三菱電機ビルテクノサービス

12年～13年度
役員構成

6月22日(金)名古屋観光ホテルにおいて、2012年度役員会が開催され、12年度～13年度の役員(2年任期)が選出承認されました。

2012(平成24)年6月(敬称略)

役職名	氏名	企業・学園・団体名	役職	本学園関連事項
名誉会長	榊 直 樹	東邦学園	学園理事長	学園理事
顧問	江口 裕 通	日本防衛装備工業会	元理事長	
	神野 三 男	(株)名鉄グランドホテル	元社長	
	内藤 明 人	リンナイ(株)	取締役会長	元「フリス・TOHO」会長
相談役	伊藤 時 雄	東邦学園	学園参与	前学園理事長
会長	遠山 昌 夫	菊水化学工業(株)	最高顧問	元学園監事
副会長	富田 寛 治	大同特殊鋼(株)	特別顧問	
	嶺木 昌 行	丸美産業(株)	会長	学園評議員
理事	石川 元 廣	(株)東海総合研究所	元専務取締役	学園監事
	磯部 由美子	東邦高等学校	教諭	学園理事
	稲垣 鍵 一	桶槽工業(株)	取締役会長	元高校同窓会会長
	神野 重 行	(株)名鉄百貨店	取締役社長	
	久野 秀 正	東邦学園	学園参与	元高校校長・元「フリス・TOHO」事務局長
	下出 啓 介	(株)エレクトロヒシキ	代表取締役	
	塩澤 敏 明	富士コーヒー(株)	代表取締役	学園理事・高校同窓会会長
	戸谷 正 行	ウィズカンパニー	代表	学園評議員・大学短大同窓会会長
	長沼 均 俊	東邦高等学校	校長	学園理事
	新美 皓 哉	新美殖産(有)	代表取締役	
	架谷 昌 信	(財)名古屋産業科学研究所	専務理事	学園参与
	成田 良 一	愛知東邦大学	学長	学園理事
	増田 貴 治	東邦学園	法人事務局長	学園理事
	丸山 惠 也	東邦学園	学園参与	元学長・大学名誉教授
	監事	川村 秀 男	元名東区長	学園評議員
山極 完 治		愛知東邦大学	教授	前学長
木村 和 義		丸善(株)	代表取締役会長	元高校PTA会長
評議員	速水 利 行	中日本警備(株)	代表取締役	
	石黒 和 重	石黒体育施設(株)	代表取締役	
	伊藤 巖 巖	名古屋油糧(株)		高校同窓会副会長・前学園評議員
	因田 和 夫	(株)マサミ梱包	専務取締役	元高校PTA会長
	大堀 道 之	ざくらや	代表	
	岡田 保	自然と親しむ会幹事		元東邦高等学校教諭
	岡部 一 明	愛知東邦大学	経営学部学部長	
	加藤 紀 生	江蘇英瑞集团有限公司	最高顧問	
	川島 勝 洋	東邦高等学校		元高校PTA会長
	河村 嘉 男	丸菱工業(株)	代表取締役会長	元高校PTA会長
	桔川 祐紀弘	(株)パワーチューブ	代表取締役	元高校PTA会長
	久野 豊 彦	環境サイエンス(株)	取締役社長	
	斉藤 周 一	東邦学園	事務次長	
	佐藤 洋	東邦学園	学園参与	
	柴田 長兵衛	三重産業(株)	代表取締役	学園評議員・元高校PTA会長
	志水 廣 己	東邦学園	前学園理事	
	鈴木 健 治	鈴木健治法律事務所	弁護士	学園評議員・学園顧問弁護士
	鈴木 基 仁	公認会計士・東陽監査法人	代表社員	学園監事・元高校PTA会長
	高井 茂 雄	東邦高等学校	元校長	元学園理事
	竹内 久 祥	タケショウ(株)	代表取締役	
	竹田 善 隆	東邦学園	元法人本部	
	中野 銀 十	(株)金城電器製作所	代表取締役会長	
	新川 裕 士	東邦学園	学園参与	元高校校長
	丹羽 義 兼	東邦学園	元高校教頭	前「フリス・TOHO」事務局長
	則竹 昌 常	東邦学園	学園参与	元高校校長
	橋本 春 子	東邦学園	学園参与	元短大学長
	藤本 紀 子	東邦高等学校	教頭	
	古市 久 子	愛知東邦大学	人間学部学部長	学園理事
	古川 博三郎	フジオカ開発(株)	代表取締役	
	堀田 時 弘	東邦学園	事務次長	東邦学園評議員
	松尾 博	東邦高等学校同窓会	高校同窓会参与	元高校同窓会副会長
	水谷 洋 一	(株)スイセイ設備工業	社長	元高校PTA会長
	宮島 久 男	吉川建設(株)	常務取締役	元高校PTA会長
	村木 秀 之	村木鑿泉探鉱(株)	取締役社長	
	横道 政 男	(株)トヨタホーム名古屋		東邦高等学校OB
吉岡 睦 博	東邦学園	学園参与	前学園理事・前法人事務局長	
事務局長	長谷川 明	東邦学園	学園参与	元学園理事

鉄・非鉄 解体リサイクル
株式会社 ジェイビーシーズ
JP CEES
〒442-0001 愛知県豊川市千両町下ノ市場107番地2
TEL : 0533-85-1551
FAX : 0533-85-2867

Justice 正義 Environment 環境
Passion 情熱 Employment 雇用
Customer 顧客 Stockholder 出資者

名古屋観光ホテル Tel.052-231-7711(代)
www.nagoyakankohotel.co.jp

事業報告

2011（平成23）年度 事業報告

2011年度の事業計画の柱は、「会員に学びの場を提供し「会員と学園が地域や社会の中でさまざまな貢献・奉仕ができるよう援助」することでした。

「学園が蓄積している学術的、文化的、教育財産を、地域社会に…還元」(会則)していく活動では、愛知東邦大学の先生方の協力の下で講演や研修をおこない、会員が学べる場を設けました。会員企業の研修に講師を派遣するお手伝いもできました。

◇定期総会・記念講演会・懇親会

6月9日、総会開催。山田 真哉氏による記念講演「経営につながる“会計の本質”をつかむ」をおこないました。「みどりの風」32号に講演内容の要旨を掲載。

◇講演会・シンポジウム

11月8日、愛知東邦大学、地域創造研究所と共催で「愛知東邦大学開学10周年記念講演会」を開催。講師：観光庁長官溝畑 宏氏。

◇激励金贈呈

柔道、水泳、サッカー、ダンス、バレーボール、空手（以上、高校）、軟式野球（大学）各部の全国大会出場に激励金贈呈。

◇法人会員の交流

2月17日第4回「名刺交換会」実施。榊 理事長（東邦学園）、成田学長（愛知東邦大学）らの参加をいただきました。29社の法人会員の参加により、およそ80名の参加者となりました。

◇会報・会員名簿の発行

会報『みどりの風』31号と32号、2012年度版の会員名簿を発行しました。

◇各種企画の実施

- ・「奥三河の棚田—四谷の千枚田—と鳳来寺自然科学博物館を訪ねる」5月14日。
- ・「“はやぶさ”で得られたこと、“はやぶさ2”で目指すこと」(講師：高木 靖彦 愛知東邦大学教授)7月7日。
- ・「地域ビジネスの元祖、近江商人の商い手法（三方よし）を知る」10月8日、「五個荘」「長浜」訪

問。(講師：森 靖雄 愛知東邦大学地域創造研究所研究員)。

- ・「混迷する世界・日本経済から 一企業経営の智恵を読む—」(講師：安部 邦彦 愛知東邦大学地域創造研究所顧問)をテーマに講座(11/29,30,12/1)を実施。
- ・「富士見台、萬岳荘へのトレッキング」を7月30日に実施。
- ・「和のフィットネス NOSS（ノス）」(講師：西川 右近 = 西川流三世家元、西川 千雅 = 西川流師範)を2回(10/18,11/22)開催。



西川千雅氏に合わせて体を動かす受講者

◇インターンシップへの協力

愛知東邦大学と友好提携校のエベレットコミュニティー・カレッジ（アメリカ）からインターンシップ希望学生（4名）を本会法人会員（丸美産業、石黒体育施設、名古屋花壇、名古屋国際ホテル）様の協力により、受け入れていただきました。

◇教育活動への援助と協賛

愛知東邦大学に50万円、東邦高等学校に30万円の教育支援金を贈呈。東邦高校主催の中学生対象スピーチコンテスト（英語）に協力。第2回納涼音楽祭に協賛。

学内企業展を就職課と共催。

◇2011（平成23）年度会員数

法人会員115社、個人会員179名、計294。過去最高の会員数を記録。

「安全第一・相互信頼」をモットーに安らぎと潤いに満ちた豊かな人間社会の発展に貢献します。



中央電気工事株式会社

取締役社長 加藤 英和

本社 〒460-8434 名古屋市中区栄3-14-22 ☎(052)262-2151 (大代表)

東邦スイミングクラブ

〒465-0516 名古屋市名東区平和が丘3-11 ☎052-782-1266

東邦スイミングスタジオ

〒453-0804 名古屋市中村区黄金通1-18 ☎052-486-7712

2011 (平成23) 年度 収支報告

(単位：円)

項目	予算	決算	予算との差	備考
前期繰越金	1,362,571	1,362,571	0	
入会金 法人会員	50,000	230,000	180,000	予算5社 決算23社
入会金 個人会員	30,000	39,000	9,000	予算10名 決算13名
年会費 法人会員	1,760,000	1,820,000	60,000	予算88社 決算91社 (うち、2年分2社・前納分7社)
年会費 個人会員	880,000	785,000	▲ 95,000	予算176名 決算157名 (うち、前期分3名・前納分2名)
講座・研修参加費	0	366,500	366,500	
広告収入	700,000	759,000	59,000	
受取利息	0	258		
寄付金	0	176,043	176,043	
合計	4,782,571	5,538,372	755,801	

項目	予算	決算	予算との差	備考
①事業費 講演料・各種研修	800,000	817,949	17,949	
学園活動支援	800,000	800,000	0	大学(50万円)・高校(30万円)へ援助
その他(援助金・祝金等)	300,000	230,000	▲ 70,000	空手、サッカー、バトン、水泳、ダンス、軟式野球部 バレー、柔道、吹奏楽部、スピーチコンテスト
学内企業展	100,000	42,330	▲ 57,670	
企業交流会	150,000	166,053	16,053	名刺交換会
②会議費 総会等	1,000,000	1,255,549	255,549	
③印刷費 会報	300,000	239,400	▲ 60,600	「みどりの風」2回
名簿作成費	70,000	69,615	▲ 385	
封筒・振込用紙類等	30,000	30,345	345	
④通信費 会報・学園広報誌発送・webメンテナンス	200,000	325,683	125,683	
⑤事務費・交通費等	100,000	112,674	12,674	振込手数料・事務用品他
⑥予備費	150,000	0	▲ 150,000	
⑦本会創立20周年記念事業積立金(目標300万円)	300,000	300,000	0	
次期繰越金	482,571	1,148,774	666,203	
合計	4,782,571	5,538,372	755,801	

収支概要

□収入の部□

新規加入会員が増え、収入増となりました。法人会員の新規加入18社は想定を超え、入会金が増えました。ご逝去による自然退会などの退会、会費納入忘れがあり、個人会員会費収入が予算を下回ることとなりました。

「講座・研修参加費」は、予算科目には計上されておらず、決算に計上いたしました。各種研修講座への参加費収入を明確にする理由です。

□支出の部□

学生・生徒のクラブ活動等の全国大会出場チー

ムが予定よりやや少なかったことが、事業費(その他)の支出減となりました。

会員に還元する意味合いもあり、会議費の支出予算を多めに執行しました。通信費増は、事務局の間違いにより、会員への郵送が多くなってしまったことに起因するものです。

予備費を取り崩し、科目流用することはありませんでした。



観光庁長官(当時) 溝畑氏の講演

 タケショウ株式会社

〒475-0837 半田市有楽町7丁目37番地12
TEL (0569)23-0511
FAX (0569)23-0520
URL <http://www.takeshou-gr.co.jp/>

各種スポーツ施設の企画・設計・施工

株式会社 **STS**

〒461-0027 名古屋市千種区春岡2丁目27番18号
TEL (052) 763-8141・FAX (052) 763-8110

事業 計画

2012（平成24）年度 事業計画

前年度は事業計画に則り、新たに多くの会員を迎えることができました。入会された皆さまに、会の趣旨をご理解いただき、未永く会員としてご協力いただけるような事業計画が一層求められます。会員相互の交流や個人会員の人的触れ合いが深まる企画に取り組み、参加いただくことにより会の存在意義を一層ご理解いただけることとなります。

学園と会員との架け橋として、本会がその任を果たせるなら、学園の教育活動を豊かにすることに貢献でき、会員も学園を身近に感じ、会の活性化にもつながることが期待できます。この具体化に応えられる事業計画を立てます。

◆役員会・講演会・定期総会開催

6月22日（金） 於：名古屋観光ホテル（中区）
役員会・講演会・定期総会・懇親会を開催。

記念講演講師：大谷 昭宏氏（ジャーナリスト）
演題：「みんなの命輝くために一東日本大震災から1年3か月・日本一」

◆講演会・シンポジウム（「地域創造研究所」との共催）日程等は未定

◆会員研修の企画と教養講座（計画中を含む）

- 5月12日「もう一度春を探しにいきませんか」（自然と親しむ会）
- 7月14日「身体表現を楽しく豊かに一運動会に向けて一」（幼稚園や保育園の先生を対象）
- 8月2日「親子理科実験教室」
- 8月4日「伊吹山エコツアー」（自然と親しむ会）
- 10月1日「コーヒーを美味しく楽しむ」
講師：富士コーヒー(株)代表取締役 塩澤 敏明氏
- 10月14日「チンパンジーの子育てに学ぶ」（仮）
講師：京大霊長類研究所 林 美里氏
- 経営者に聞く“我社の誇り”を計画中
- 「みどりのダム一森の働きを知る一」東大演習 林（瀬戸）を計画中
- シニア向けパソコン講座(TMCCの講座として)や中国語講座を計画中

◆法人会員相互の交流を図る

2月26日（火）第5回名刺交換会（於 愛知東邦大学を予定）

◆会報『みどりの風』発行

第33号（7月下旬）、第34号（11月下旬）発行（予定）

◆会員名簿の発行（2013年1月中旬）

◆学園情報紙誌を会員に配布

学園広報紙「キャンパス」、地域創造研究所所報などを適宜送付

◆学園支援事業

- 就職活動支援の「企業展」を開催（大学就職課と共催）
- 大学・高校各クラブへ激励と支援活動
- 大学の企業研修やインターンシップ計画への協力
- 大学・高校の教育活動支援金の贈呈
- 高校・スピーチコンテスト（英語）の支援
- 納涼音楽祭（8月25日）に協賛

◆個人会員への宣伝と入会勧誘の重視

高校保護者や卒業生に向けた会の宣伝と勧誘

株式会社 セントラル防災 > 消防設備(保守・点検・施工)
> 防火対象物・防災管理点検
> 特殊建築物等(定期調査・検査)
〒454-0975
名古屋市中川区七反田町3番地
TEL 052-431-0711
URL <http://www.central-b.jp/>



FUTAMURA
二村産業株式会社
代表取締役 二村 憲
名古屋市中川区愛知町41-36
TEL 052-353-7724(代)・052-351-7337
FAX 052-351-7720
<http://www.futamura-sangyo.co.jp/>

2012 (平成 24) 年度 事業予算案

(単位：円)

収入の部		備考	支出の部	
①前期繰越金	1,148,774		①事業費 講演料・「研修・親睦活動」援助費	900,000
②年会費 法人会員 (114社×2万円)	2,180,000	会員114社、退会5社	学園活動支援	800,000
〃 個人会員 (178名×5千円)	840,000	会員数178名、退会10名	その他(援助金・祝金等)	250,000
③入会金 法人会員(5社×1万円)	50,000	新規加入5社	企業セミナー	120,000
〃 個人会員 (10名×3千円)	30,000	新規加入10名	企業交流会	180,000
④広告収入	800,000		②会議費 総会等	1,300,000
⑤受取利息	200		③印刷費 会報	300,000
⑥講座・研修参加費	250,000	自然と親しむ会他	名簿作成費	75,000
			封筒・振込用紙類等	20,000
			④通信費 会報・学園広報誌発送、Webメンテナンス	250,000
			⑤事務費・交通費等	100,000
			⑥予備費	150,000
			⑦本会創立20周年記念事業積立金(目標300万円)	300,000
			⑧次期繰越金	553,974
合計	5,298,974		合計	5,298,974

予算概要

□収入の部□

新規加入として、法人5社、個人10名を予定しました。個人と法人の退会数も同数を見込みました。

法人会員数が増加したことにより、会報「みどりの風」33号、34号の広告収入額を増やしました。

役員会で指摘も受けましたが、各種講座・研修参加実態を明確にする意味もあり、「講座・研修参加」の科目を計上しました。魅力のある講座や研修を企画し、多くの参加を得るとともに、会員の増加を目指します。

□支出の部□

多くの会員にご参加をいただいて総会を魅力あるものにすることは、皆様に還元できる機会でもあります。したがって総会等の会議費の支出を増額、計上しました。学園活動支援や名刺交換会など例年通りの事業も計画します。

事業費(その他)の支出を前年度実績に基づき減額し、25万円としましたが、今後の部活動の活躍によっては大きく変動することも予想されず。増額となることを期待しています。変動がある場合は、予備費から支出します。

30年からの土地活用

KODATEX
コダテックス



K 土地・建物の有効活用のバイオニア

貝沼建設株式会社
kainuma

代表取締役 宇山公一郎 〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目7番14号
TEL(052)242-1131 FAX(052)242-3291

◆三菱電機株式会社・新電元工業株式会社 代理店◆

EH **エリックヒシキ株式会社**

代表取締役会長 下出 玲子
代表取締役社長 下出 啓介

本社 〒465-0093 名古屋市名東区一社四丁目22番地
TEL(052)702-2021 FAX(052)704-3131

岡崎営業所 〒444-0075 岡崎市伊賀町三丁目25番地
TEL(0564)21-6792 FAX(0564)21-6838

「混迷する世界・日本経済から

—企業経営の知恵を読む—

愛知東邦大学地域創造研究所 顧問

安保 邦彦 講師

全3回の講座(2011/11/29～12/1)には、延べ41名の参加がありました。師走を前に忙しい時期にご参加いただき、終了後は今尾雅博先生(愛知東邦大学経営学部教授)が「時間があれば研究室でお茶でも飲みながら話の続きをしませんか」とのお誘いもありました。今尾先生の研究室でコーヒーをいただくというおまけつきの講座となりました。

講座からその一部をご紹介します。(敬称略)

□トヨタ

トヨタ発展のきっかけは豊田佐吉の欧米視察でした。1910(明治43)年、アメリカで見たT型フォード、イギリスのランカシア地方の繊維の産業の衰退は、自動車の未来と繊維の先行き不安を感じ取ることとなりました。トヨタが車産業に力を入れたきっかけでした。

□カゴメ

名古屋に本社のあるカゴメの草創の物語りでした。創業者 蟹江一太郎は、現東海市の農家の婿養子でした。彼は、養蚕業衰退の兆しをいち早く感じ、桑栽培からトマト栽培への転作を考えたのです。トマト作りは、兵役中の上官の一言でした。「西洋野菜が現金収入になる」。

さらに、名古屋ホテルでもらったトマトソース



安保先生の話に熱心に聴く受講者

を真似て1903(明治36)年、自宅納屋でトマトソースの生産を開始しました。カゴメトマトケチャップの始まりです。

□ミツカングループ(旧中埜酢店)

1804(文化元)年、初代中野又左衛門が現半田市で酒粕から酢の製造を始めたのが出発点です。当時、知多から江戸までの海路があり、江戸で流行った立ち食い寿司に酒粕酢が採用され、大いに繁盛することになりました。

4代目中野又左衛門は、中埜に姓を替え1892(明治25)年に丸三ビールの生産を本格化します。このビール生産を手伝ったのが、甥の森田善平で敷島製パンの創設者です。

7代目は、左衛門の「衛」を「エ」に改めました。創意工夫を凝らした経営に徹するためといわれています。

□各社に共通するものは何か

時代の先を見ながら常に新しいことに挑戦する姿勢があり、進んだ道が時代の趨勢と合致し、業績が拡大したといえます。また、自分が得意とし実績のある事業からの発展であったことも見逃すことはできません。例えば、トヨタは、「織機機械」から「車」の「組み立て」産業へと発展させました。

カゴメは、大根、蚕、米のいわば和野菜から洋野菜のトマト、キャベツ、パセリ、白菜、だるまニンジンに挑戦しました。

ミツカングループは、酒造りから酒粕、そして酢に進出し、その売り方にも革新性を持ち込みました。

こうした企業は、いずれも創業者を継承する後

防水工事専門業者株式会社忠京で安心ある暮らし



代表取締役 宮崎 豊太郎

〒459-8001 愛知県名古屋市長区大高町字上瀬木川東43番地の1
電話 052-626-2332(代表)

DSK

新しい価値の創造こそ私たちの使命です

株式会社 電算システム

<http://www.densan-s.co.jp/>

□岐阜本社 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 058-279-3456
□名古屋支社 名古屋市中村区名駅南一丁目18番24号 052-581-6785

継者が、新しい分野に挑戦する精神力があり、今も日々進化し続けているといえます。

□個性を出す企業

岐阜県の安八郡に「未来工業」があります。電設資材、給排水設備、ガス機材設備メーカーです。この創業者、山田昭男は家業のヤマダ電気に入社しましたが、「劇団未来座」を旗揚げし、そちらに熱を入れたため勘当同然となり、やむなく未来工業を大垣で立ち上げることとなったのです。この会社の社是は「常に考える」です。この考えることで生み出した新製品が業績を伸ばすこととなったのです。経営方針も特徴があり、「社員をどれだけ感動させられるか」に心を砕いています。

□樹研工業

豊橋にあるプラスチックの小型精密部品製造（歯車）と小型射出成型機のメーカーです。大企業が手を出さないニッチの分野と専門技術に特化した異色の企業です。この会社の経営方針も特徴があり、定年制はなく、採用は先着順といいます。

安保先生の話はこれだけではありません。紙面の関係ですべてをお伝えすることができないのが残念ですが、やむを得ません。最後にレジュメに記載された次の言葉をおすそ分けしましょう。

「偶然は心に準備のないものを助けない（パストール）」。

文責 「フレンズ・TOHO」事務局 長谷川明

今年7月、愛知東邦大学の大規模改修工事が公表されました。工事は今年夏と来年春にまたがる大がかりなもの。向こう10年間、東邦学園創立100周年に向けたキャンパス整備計画の第1期。名付けて「スマート・キャンパス化」。整備計画のポイントは「巨大地震に備え、省エネ・節電に貢献し、快適で地域に開かれた大学にすること」の3点です。

今夏8、9月の工事は、主に緊急性がある耐震化です。2009年の耐震診断では、建設当時の

基準に適合しているものの、いま激しい揺れに襲われた時、「人的被害も生じかねない」とのことでした。地震の活動期に入ったともいわれる今、学園は「学生と教職員の命を危険から守るため、耐震補強を急ぐべきだ」と、第1期の改修をおこなうことにしたのです。

「スマート・キャンパス化」のもうひとつの基

本方針は「社会に開かれた、安心・安全で自然環境に配慮したキャンパスとして整備」することです。

具体的な工事計画としては、これから学園創立100周年までの約10年の間に各講義棟を全3期に分けて改築工事を行い、最終的には耐震補強を必要とするすべての校舎を建て直すことになり

ます。大学の新たな教育づくりとともに、東邦高校と愛知東邦大学との一体感を意識して校舎をデザインしま

す。そして、学生が安心して有意義な学生生活を送ることはもちろん、環境にやさしい地域のシンボリックな建物として多くの方々に愛され、利用される身近なキャンパスの実現を目指しています。

本会もこの「創立100周年記念事業」に大きな期待と、どのような形の支援が可能か、検討が求められます。

**愛知東邦大学、耐震化工事
省エネ対策も実施**
耐震化により安全を確かなものにエコ化を進め、
省エネルギー化を推進

 ツタワルをつくる
株式会社 クイックス
代表取締役社長 服部晋吾
〒448-0025 愛知県刈谷市幸町二丁目2番地
TEL : 0566-24-5511 (代表) / FAX : 0566-26-0200
URL : <http://www.kwix.co.jp/>

 Seikodo
株式会社 正鶴堂
〒462-0842 名古屋市北区志賀南通2-4
TEL 052-914-1855 / FAX 052-914-1887
URL <http://www.seikodo1950.co.jp/>

イ	メ	ー	ジ	を	
鮮	や	か	な	形	に
し	ま	せ	ん	か	？

ボランティア活動の役割

愛知東邦大学経営学部長 岡部 一明

(「ボランティア論」授業担当者)

□大学での東北支援

愛知東邦大学でも、学生の自主性を尊重した東北支援を行った。震災直後からボランティア関連の教員らが現地調査を行い、学生にボランティアの情報提供をした。7月には大学執行部、学生委員会の主導で「教職員・学生ボランティア支援委員会」が結成され、体制が整った。学生が個々に東北に行ったのだが、夏休みには教員有志が学生ボランティア参加を呼びかけた。9月2日から10日まで2次にわたり宮城県七ヶ浜町でのボランティア活動を行なった。これは大学生協の企画に乗ったもので、休み中にもかかわらず20名ほどが手を上げてきた。震災ボランティア・ツアーは名古屋からを含め全国から多様に行われている。ボランティアしたいと思えば、そこに申し込めばよいのだが、初心者の学生たちにとっては敷居が高い。身近な大学で呼びかけがあったことで多くの手があがった。

が、夏休みのボランティアはどこもすぐに満員の状況。9月のボランティア・ツアーに本学から参加できたのは学生4名、教職員3名に留まった。そこで、後期が始まるとともに私の担当授業「ボランティア論」などで再び震災ボランティア・ツアー参加を募集。またまた30名近い学生からの手があがる。今度は学生21名、教職員2名が10月23日から26日、宮城県石巻市、特にその牡鹿半島地域の漁村でボランティア活動を行うことができた。東京のピースボートという市民団体の組織するツアーに乗る形で、例によって往復夜行バス、被災地で寝袋宿泊というハードな内身

だった。この2つの企画を中心に本学学生の東北ボランティア活動は『愛知東邦大学・東北ボランティア活動の記録』（近日刊）にまとめられたので参照されたい。

□企業の社会的貢献

これら活動の中で、本誌『みどりの風』読者に関連して、企業のボランティア・社会貢献活動が活発に取り組みされていたことを特筆しておきたい。七ヶ浜では、毎朝、現地ボランティアセンターで他団体も含めて参加者一同が会したが、そこに、学生や一般市民に混じって企業からのボランティア集団がかなり見られた。印象深いのは丸紅からの数十人の一団だった。どれもこれもいかつい体格の男たちのグループ。聞けば、昔アメフトをやっていたような選りすぐりの肉体派社員が派遣されたという。昨年9月段階では浜はまだ瓦礫が散乱し、いくら片付けてもキリがない徒労感に襲われていたが、こうした企業からの迫力ある「軍団」が次々入る状況を見て、大いに勇気付けられた。

同様に10月の牡鹿半島ボランティアでも企業派遣集団は至る所に見られた。本学グループが入った小淵浜での漁業支援ボランティアでは、100人を越す「東京トヨペット」のユニフォームを着た集団がやってきて壮観だった。16年前の阪神淡路大震災の時にも延べ100万を越す大量のボランティアが被災地に入り、日本における「ボランティア元年」と言われたが、このときには、これほどの企業による組織だった支援はなかったと思う。NPO（非営利組織）の制度もまだなく、



JTB中部 教育旅行名古屋支店

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-18-24 マビルディング5階
TEL: 052-586-2311
FAX: 052-586-2355

より良い記録、より豊かな精神は、よい体育施設から生まれる

石黒体育施設株式会社

代表取締役 石黒 和重

名古屋市千種区春岡2丁目27番18号 TEL052-757-4030

ボランティアはあくまで個人ベースで行われた。「企業の社会的貢献」の概念も今ほどは普及していなかった。

□ボランティアを定義する

基本中の基本だが、ボランティアとは何か。大学の授業めくが、次の3要素が揃ってはじめてボランティアが定義される。

- (1) 公益性—一人のため世のためであること
- (2) 無償性—報酬を得ないこと
- (3) 自発性—強制されたものでないこと

ボランティアと言えば、まずはおカネをもらわない活動と考えるが、それだけでは、趣味の将棋

やらスポーツやらあらゆる活動が含まれてしまう。人のため世のための活動でなければボランティアと言えない。また社会のための無料の活動であっても、強制されてやるのではボランティアとは言えない。あくまでも上記3つが全部そろっ



牡鹿半島の漁村被災地に入る本学学生ボランティア

て初めてボランティア活動になる。

この中で特に注意すべきは「自発性」だ。学校で成績と結びつけて行われる「ボランティア」は本当のボランティアか、というのがよく議論になる。確かに、生徒がいよいよながら学校の周りの掃除をするというのは本当のボランティアとはいにくい。やり方によっては教育的に意味ある活

動となるが、「社会貢献活動」などと言うべきであろう。

これは、特に戦前・戦中の国家総動員体制の中で、国への奉仕が強制的に国民に求められた歴史ともからんで重要な点である。「社会奉仕」にやや否定的なイメージがついたのはこの歴史と関係がある。「奉仕」がもともと「仕え奉る」という意味であることから、戦後の自発的社会奉仕活動は「ボランティア」という外来語で呼ばれることになった。

□そこに苦しむ人が居るなら

「ボランティアは欧米のキリスト教の文化」「日

本人には無理」といった議論もあった。しかし、前述の通り、1995年の阪神淡路大震災直後の延べ100万人以上の活発なボランティア活動がこの固定観念を打ち破った。困った人・苦しむ人がいる。だから助けようとする。その心に宗教や文化

の違いはないはずである。日本人にもそうした心は強く流れており阪神淡路大震災の時にそれは大々的に証明され、今回の東日本大震災後の動きの中でも証明された。本学から東北ボランティアに行った学生たちの言葉からもその片鱗はうかがえた。「生まれて初めて人に何かしたい、という気持ちになった」「かわいそうだ、と思うだけで

トンボ学生服
トンボスポーツウェア

株式会社トンボメイト

〒451-0053 愛知県名古屋市西区枇杷島1-21-30
TEL 052-562-1741 FAX 052-562-4135

NSG 中日本警備株式会社

〒460-0022 名古屋市中区金山2丁目1番24号
警備保障 電話 (052) 322-3291(代) FAX (052) 322-3110
URL <http://www.nakanihonkeibi.co.jp/>

DNC. 大日本土木株式会社 名古屋支店

執行役員支店長 井上 勝
〒460-8412 名古屋市中区栄1丁目7番地33号
TEL : 052-201-1078 / FAX : 052-212-3504
URL : <http://www.dnc.co.jp/>

はだめだ」「行動しなければ、と思った」。ふだんドライな学生たちからそんな言葉が聞けて感動した。

外来語のせいかボランティアは何か非常に特別な活動のように思われることもある。しかし実際は、毎月の町内会・団地管理組合の掃除、草むしり、学童保育のお祭りバザー、少年野球の手伝いとかかなり多くの日本人がボランティアを普通にやっている。総務省の社会生活基本統計によれば、1年間に何らかのボランティア活動を行う人は約3000万人で、人口の4分の1に及ぶ。消防団活動などは江戸時代の町火消しが起源で、日本のボランティアの優れた伝統だ。欧米がキリスト教なら日本には仏教の伝統がある。寺が貧民救済のセンターとなってきたし、奈良時代の僧・行基(668-749年)は日本の元祖ボランティアとも言われる。かの経営学の神様、ピーター・ドラッカーは「いまも機能している最古の非営利機関は日本にある。奈良の古寺がそれである。創立の当初から、それらの寺は非政府の存在であり自治の存在だった」という言葉を残している(『非営利組織の経営』より)。

□日本の「ボランティア元年」

阪神淡路大震災時の「ボランティア元年」を契機に、日本でもボランティアの役割、その支援体制の必要性が広く認識されるようになった。その3年後、1998年に特定非営利活動促進法(通称NPO法)が成立する。NPO(非営利組織)はボランティアの核となって市民活動を支える組織だ。小さなボランティア団体でも「特定非営利活動法人」(通称NPO法人)として簡便に法人化

できるようにした。財団法人、社団法人、社会福祉法人、学校法人などの既存の法人(欧米ではNPOの範疇に入る)は設立が難しいのに対して、資力のない小さな市民活動団体でも、比較的簡単な手続きで「認証」され設立できる。社会的な信用を得、寄付なども集まり易くなる。14年の間にすでに4万5000団体を超えるNPO法人が設立され、ボランティア活動の中で中核的な役割を果たしている。

□企業も市民

企業の社会的貢献も期待できる分野だ。企業は元来営利を目的とした組織で、よい商品を安く提供することがその社会的役割であると解されていた。その基本は変わらないが、個人が単なる損得で動く経済人に留まらないように、企業も、損得以外に社会的責務を果たしていくべきだという認識が高まってきた。いわゆる「企業市民」概念の登場である。

世界的には、企業はまず20世紀初頭、社会主義に対抗する形で、労働条件の一定の確保、労働権の確立など、企業内従業員への責任を求められるようになった。次いで1960年代以降、環境問題の激化や消費者意識の覚醒の中で、より広い社会への企業責任が問われるようになる。80年代前後に活発化した日本企業の対米進出の中で、地域貢献を重視するアメリカの企業風土から受けた影響も大きかった。法令順守はもちろんのこと、責任を問われて何かするのではなく、自ら進んで社会にはたらきかける「企業の社会的貢献」が目指されるようになる。芸術などを支援する企業メセナ活動が活発化する。1990年には経団連が1%

 **株式会社 アール・エス・シー 中部**
代表取締役社長 伊藤 博樹
住所 〒451-0042 名古屋市西区那古野一丁目14番18号 那古野ビル北館208号室
電話 052-581-5421(代表) FAX 052-583-4806

鈴木健治法律事務所
弁護士 鈴木 健治 (高17回)
〒451-0031 名古屋市西区城西1丁目8番16号 杉浦ビル2階
電話 (052) 532-8320 FAX (052) 532-8420

 **株式会社 プランナーズランド**
〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄5丁目25番6号
Tel.: 052-265-2930
Fax.: 052-265-2931
URL: <http://www.planners.co.jp/>
スクールギア事業部 データベース事業部 インフラソリューション事業部

クラブを発足させる。企業利益の1%を社会貢献に拠出することを宣言した誇り高い企業たちのクラブであり、現在200社を超える日本の主だった大企業が参集している。

社会貢献などしていると企業業績が落ちないか。この種の調査が活発なアメリカで、概ね反対の結果が出ている。つまりボランティアなど社会貢献に熱心な企業は企業業績もよいのだ。要因はいろいろある。企業イメージの向上になる。地域で信頼を得られる。従業員の士気が高まる。自社

への誇りが生まれる。若い優秀な人材が集まるようになる。実際に地域の社会問題の改善を図られることで、企業基盤の安定につながる。社会へのアンテナに敏感になることから企業戦略やマーケティング能力を高める。結局、短期的に超超と見えても長期的には企業利益につながる。

東日本大震災は非常に不幸な出来事であったが、これへの各方面からの真摯な対応の中で私たちの社会をより強靱なものに変えていきたい。

バトン部の生徒とともに ボランティア活動に参加して

東邦高等学校 バトン部顧問 中橋 杏奈

2011年3月11日、忘れられない大災害が起こった。街の何もかもが一瞬にして流されていく様子に言葉を失った。犠牲者・行方不明者約2万人。多くの尊い命が一瞬にして奪われた。

「絆」という言葉の名のもとに、日本中から東北に支援の手が差し伸べられた。東邦高校でも生徒会の呼びかけで募金活動が行われた。また、愛知ボランティアセンターが主催するボランティアに東邦高校から生徒と教員が参加した。金曜日の夕方名古屋を出発し、土曜日早朝から夕方まで現地で活動、日曜日の朝に名古屋に帰ってくるという0泊3日の弾丸ツアーである。第1隊として、6月に教員2名と生徒22名が参加、7月に第2隊として教員1名と生徒8名が参加、8月には教員3名が参加、そして震災から1年経った3月には、第4隊としてバトン部全部員と教員1名で参加。震災以来、継続して東北支援を続けている。

またそれ以外にもボランティア活動に参加した生徒と生徒会を中心に、文化祭でもさまざまな震

災支援の企画が行われた。宮城県石巻市から被災した高校生を招いてのシンポジウム、東北物産展、募金活動、クラス・クラブ企画でも「東北に笑顔」と、東邦からエールが送られる場面も見られた。

私は、第2隊、第4隊とバトン部の生徒と石巻市を訪問した。3月には、自分たちなりの支援がしたいということで、演技披露をし、「笑顔」の力を届けることができた。震災で深く傷ついた街は、いろんな事を私たちに問いかけてくれた。私も生徒たちも学校では学べない、そして今後の人生においてとても大きな経験をした。以下は生徒の生の声である。ぜひ、読んでいただきたい。

○第2隊に参加した生徒の感想 (2011. 7)

笑顔で出発した金曜日。まさか自分がこんな思いで帰ってくるなんて思わなかった。現地では涙は一粒も出なかった。名古屋に帰ってきて、今改めて一つ一つ思いだしていくと、現地では出なかった涙が、満タンになったタンクから溢れ出す

WATER & GEOLOGIC DEVELOPER

村木鑿泉探鑛株式会社

〒456-0063 名古屋市熱田区西野町1-2
TEL (052)671-4126

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2 www.ms-ins.com

様にポロポロと・・・。



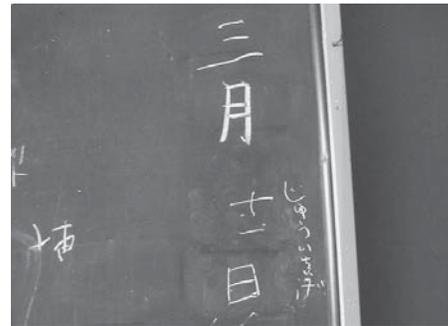
建物が建ってる、ハエがいない、クーラーがついている、風呂に入れる。ただ普通としていた事が有り難くて、幸せで。4か月経っている事もあり、メディアで取り上げられている事はいかにも復興しています。みたいな感じで。でも、実際に行ってみてメディアを通じてしか見ていなかったあの場所。本当に4か月経ったの？って。本当に昨日起きたかの様で。涙も出なかった。口を開けて、眺めてる事しか出来なかった。家、ないよ？船、何でこんな所にあるの？車、何で海の中にあるの？人、何でいないの？本当にこれが現実で。この現実を受け止めることが辛い。胸が痛い。

森があって、野生の鹿がいて。海も広がっていて。本当にいい所なのに。でも、この海が東北を変えて、海底に思い出を消したんだよね。これだけ荒らしといて、もう何事もなかった様に静かにするなんて、せこいよ。自然の儚さも実感した。

避難所の渡波小学校。ハエと共に暮らしている様で、風呂にも入れない、クーラーだってもちろんない。びっくりする様な環境で。現地の人達は、毎日そこで暮らしている。同じ空の下と言え、同じ国と言え、違いすぎて。そんな環境にあるのに、現地の人達は、私が掃除をしていると「お疲れ様」「ありがとう」って言ってくれて。仮設トイレの掃除も、全然嫌じゃなかった。むしろ、任せて下さい。一緒に話をしても「ありがとう」って。本当に笑顔が絶えなくて。きっと不安もあると思うのに・・・。「ありがとう」って言葉がこんなに

重く感じたのは初めて。

学校の黒板の日付は「3月11日」あの日のままで。津波の跡がついていて。その教室は時間が止まった様だった。朝起きたら家族がいて、教室に入ったらクラスの仲間がいる。黒板の日付は変わってる。そんな日常が幸せ過ぎる。渡波小学校の生徒達を書いた七夕の短冊。子ども達の希望は・・・「また渡波小学校でみんな勉強したい。」授業を受ける事が仕事の様な、それが普通として生きている私たちの生活を現地の子ども達は願っていた。本当に切ないよ・・・。



考えると、無駄な日もあったな。今日も授業を受けれる事が幸せで、そう思うと涙が溢れ出て、授業受けれなかった。自分がやらなきゃいけない事は、絶対にやらなきゃいけないって分かっているのに、こうしている間にボランティアをしている人や、現地の人のことを考えると、授業受けてていいのかな？って思っちゃって・・・。訳が分からなくて・・・。みんなは「頑張れ」って声を掛けてるけど、「頑張れ」って言うけど、もう十分頑張ってるよ。帰って来て分かったけど、現地に行く事だけがボランティアじゃない。

今、自分には何が出来るのか、それは多くの人にこの事を伝える事かもしれない。でも、やっぱり伝わらなくて、みんなの反応が辛かった。だから、今日を、明日を大切に。一日一日が奇跡。平凡だと思っていた毎日を使命だと思って生きていく事じゃないかな。あの日に被災した誰もが生き残った日を・・・。



For your secure days

セクダム株式会社

<http://www.secdom.com>



株式会社

青島設計

AOSHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

名古屋 (052) 262-2341

東京 (03) 3431-2341

URL <http://www.aoshimas.co.jp>

何より、全員無事に帰って来て良かった。貴重な経験だった。愛知ボランティアセンターの方々、東邦隊のみんなと励まし合い。協力し合い、新しい思いやりの心を持てた。私達をサポートして下さり、貴重な経験をさせて頂けたことに、全ての人に感謝です。今日があるって、明日があるって幸せだな。



○第4隊に参加した生徒の感想 (2012. 3)

・今までのいろんなステージで踊ってきたけれど、3・31。この日のステージは最高!!今までの、一番のステージだった。狭いし、雨だし、運動靴だし、予定通りには全く動けない。でも、もうそんなのどうでもよかった。私たち



ちの演技で、こんなに笑顔になってくれる。中には泣いている人も、一緒に踊ってくれる人も…。本当にうれしかった。でも、皆の笑顔と涙、何より現地の方の笑顔と涙。これは私たちの心の中に一生消えることなく、深く刻まれた。また、現地の方にもそうであってほしいな。私が出たものは、言葉の大切さと繋がり。そして現地の方の笑顔と涙。

・このボランティアを通して、私たちが今いかに幸せなのかがとてもわかりました。自分の家に家

族全員で暮らせる幸せ、学校へ行ける幸せ、自分の好きなだけ食べられる幸せ。普段何も気にせず過ごしている日常生活ですが、私はこんなにも

幸せな状況であるんだと思いました。ボランティアに行かなかったら、気づけなかったことでした。私もボランティアを通して、何か一つ得ることができました。このことを忘れず、これからの生活を過ごしていきたいです。

・主に瓦礫の処理を行いました。拾ったものは、お茶碗がたくさんあり、またこの土地に住んでいた方の結婚写真が見つかり、私が見つけて拾ったものは、ごみではなく、1つ1つ生きた証なんだと思いました。このことは決して忘れてはいけないこと

だと思いました。また2つの場所で踊ることができてとてもうれしかったです。踊っているときに見て下さっている方々が、だんだん笑顔になってきてくれて、その笑顔を見てもっとこちら側が頑張ろうと思える笑顔が見れました。私は、人の役に立つ、社会に貢献できる人間になることで、少しでも東北の復興につながるんじゃないかと思いました。ボランティアを行ったことで、当たり前前のことに感謝しないといけないと思いました。これからも何事にも頑張っていきたいです。

木造住宅 耐震補強 **ウッドピタ**

見学会開催中!

ウッドピタ 検索 www.woodpita.co.jp

矢作建設工業株式会社

株式会社ウッドピタ

[お問合せ] ☎0120-260-220

工業用ゴムプラスチック製品

丸善株式会社

代表取締役 木村 憲 藏

本 社 名古屋市中区金山4丁目3番11号
〒460-002 TEL(052)332-0811代 FAX(052)332-3566

電子の夢を創る

東洋電機株式会社

〒480-0393 春日井市神屋町字引沢1-39
TEL0568-88-1700(代) FAX0568-88-0701

これからのフレンズ企画

ドライアイスで強大なアイスクリームを作っちゃおう
ナイロンを作ろう

親子理科実験教室

日時：8月2日(木) 10時～12時

受付：9:50から

場所：東邦高等学校化学実験室

小学生4年生以上(子供だけでもOK)

講師：東邦高等学校理科教諭

助手：東邦高等学校生徒

材料費100円(当日徴収)

講演

「チンパンジーの子育てに学ぶ」

講師：京大霊長類研究所 林美里先生

日時：10月14日 13:30～15:00

場所：愛知東邦大学

DNAの塩基配列はヒトとほとんど違いがありません。98.77%が同じです。ヒトにもっとも近いチンパンジーは、子どもを「ゆっくり寛容に育て、子どもにあまり干渉せず、親を見て学ぶように」します。

「一緒にいることがいいんだと思います」教育は「詰め込みにならないように、自発的に興味が持てる環境、サポートが必要ではないかと思います」。この続きは講演で。

8/4
(土)

伊吹山エコツアー

さしもぐさ(よもぎ)といえば、伊吹のお灸。伊吹山は古代より薬草の宝庫でした。この辺りは、北方系と南方系植物が出会う、それぞれの限界位置にあります。それだけに植物の種類も豊かです。

伊吹の自然を愛で、「自然と人間の共存」を訴え、エコツアーガイドをおこなう「伊吹山もりびとの会」に案内をいただきます。

10月1日 コーヒーの日

プロが伝授する

コーヒーを楽しむ(実技とともに) コーヒーを美味しく楽しむ

講師：富士コーヒー(株)社長 塩澤敏明氏

日時：10月1日 18:00～19:00

場所：愛知東邦大学



問合せ先・お申し込み先は、TEL：052-782-1241 FAX：052-781-0931 E-mail：friends@aichi-toho.ac.jp

担当：西、濱嶋、木村



大同特殊鋼
URL <http://www.daido.co.jp/>

ご利用金額に応じて“翌年のご優待率”が最大10%に。

三越 M CARD
新規ご入会受付中



Hoshigaoka Group

- ★星ヶ丘ボウル
- ★星ヶ丘テラス
- ★星ヶ丘駐車場
- ★星ヶ丘自動車学校
- ★星ヶ丘モーターサービス
- ★リンクスこうのす
- ★東山ポート

*星ヶ丘グループ本社
〒464-0802 名古屋市千種区星ヶ丘元町 14-35
tel:052-781-5210 fax:052-782-6373

送迎業務を見直しませんか!



株式会社スターロードシステム

代表取締役 井島 規夫
(東邦高校 37回卒)

URL: <http://www.star-road.jp>
TEL: 052-737-3787

記念
講演

2012年度 フレンズ定期総会 記念講演
**「みんなの命輝くために
 —東日本大震災から1年3ヶ月・日本—**

講師 大谷 昭宏 氏 (ジャーナリスト)

6月22日(金)名古屋観光ホテルにて、定期総会が開催されました。記念講演は、ジャーナリスト、大谷昭宏氏。一般の方からの参加もあり、愛知東邦大学学生、会員などおよそ150名が講演に耳を傾けました。

「フレンズ・TOHO」の評議員・運営委員の大堀道之氏が司会進行をおこない、愛知東邦大学人間学部長、古市 久子先生から講師紹介がありました。

講演の概要は以下のようでした。(文責：事務局)

プロ野球界が伏せたいものがある？

本日は東邦学園「フレンズ・TOHO」の講演会にお招きいただきありがとうございます。

原監督が1億円を恐喝されたことが話題となっています。1億円もの大金を一般女性の書いた日記に支払うというのは不可思議です。警察に届けなかったのは、警察に見せられないことが書いてあったと考えるのが普通でしょう。1億円払ってもジャイアンツが伏せたかったことが書いてあったと見るのが普通でしょう。

取り巻きが忠告しないから、渡邊 恒雄さんは、いまや裸の王様なのかもしれません。清武さんが渡邊さんに追い出され、出版差し止めなど追い詰められている。追い詰められれば、彼が握っている「核兵器」を使わざるを得なくなってしまう。

「神も仏もあるものか」

国や行政は地図を持たずに進んでいるよう思え、残念でなりません。私は、南三陸から中継する仕事があり、7回被災地に足を運びました。実



際に現地に行き、「神も仏もあるものか」と実感したんです。こんなにひどいことになるものかと。

1995年1月17日、阪神淡路大震災がありました。

サンデープロジェクトという番組で21回の震災報道をしました。この地震と比較し、東日本大震災では、何よりもつらいだろうと思うのは、いまだに行方不明の方がいらっしゃる事です。2910数名が不明のままです。阪神では、早朝だったので、親子、家族が一つ屋根の下にいたケース

想いを、カタチに。

TOYO 東洋印刷工業株式会社

本社 〒462-0805 名古屋市北区八竜町1-25-2
 TEL(052)914-9111(代) FAX(052)914-9119
 URL <http://www.toyo-pi.co.jp>

 名鉄百貨店アイカード
 会員募集中
 meiteisu

モノと心を大切にしない社会の実現

美 丸美産業株式会社

代表取締役会長 嶺木 昌行
 代表取締役社長 南 喜幸

ISO 14001 認証
 〒467-8533
 名古屋市瑞穂区瑞穂通3-21
 TEL (052) 851-3511(代)
<http://www.marumi.com>

が多いのですが、東日本では、家族がバラバラの時間帯でした。津波はここまでやるのかと思うほどで、復興期間は阪神の5倍も10倍もかかるように思えます。福島原発を真ん中に抱えているということはあるものの、1年経たないと復興庁ができない始末です。20年経たないと規制区域には戻れないのです。離れていた人が20年経ってから帰りますか？我々はあの国土を捨てたと同じなのです。20年という歳月は、二度と帰れないのと同じではありませんか。我々はとんでもないことをしたという思いに立つことが大切です。大事な国土を失ったのです。

自然は恵みも与えてくれる

クリスマス、冷たい風を遮るものがない被災地で、ボランティアの人たちが泥を取り除いていました。一番寒い時期にもかかわらず、8000人がボランティアに入っていたのです。我々の社会は根っここのところで、「捨てたものではない」と思えました。

カキ養殖業者を取材したときです。施設は流されました。彼は過去3回、津波に襲われていました。今回の地震があったとき、「とんでもない大津波が来る」と思ったそうです。漁師の彼は、津波に向かって全速力で船を走らせました。一晩中、沖合いで船を止めて凌いだのです。翌日帰ったら、町民の四分の一が亡くなっていた。

この助かった漁師にワカメをご馳走になりました。彼は、「海はひどいことをするが、半年経てばこのように恵みも与えてくれる」と。

私たちの国には、「お互い様」という言葉があります。困ったときは「お互い様」の精神で、それぞれが出来る事をしてあげたらいいのです。ひ

どいことをする海だって、返してくれるのです。自然と人間でも、人間と人間でも同じです。もちろん心無い方がいるのも事実です。瓦礫処理を松阪市が引き受けると表明しました。BSEで松阪市が苦勞し、励まされたことへの恩返しです。ボランティアとして現地に行かなくても、ごみの減量を図って、減量した分瓦礫を受け入れられれば、ボランティアに行ったことと同じだと松阪の人々が言ったそうです。これが「お互い様」の考え方です。

根拠のない不安に惑わされないこと

不安には根拠のあるものと根拠のない漠然とした不安があります。メディアも根拠のない不安に惑わされてはならない。根拠のある不安には何時間かけても答えなければならないのです。このことをわれわれ自身が学ばなければならないのです。

津波で南三陸・三嶋神社のお神輿が流されました。2011年は4年に1度の例大祭でした。祭事用具も流され、お祭りはできませんでした。ところが翌年の3月30日、500キロ離れた静岡から好意で神輿が運ばれてきたのです。

東北の祭りは幻想的です。和紙を口にくわえて神輿を担ぐのですから、声がしない。瓦礫の中を幻想的に行ったり来たりするのです。南三陸に残る伝統を守ってきたお祭りです。行ったり来たりしながら最後は宮入りする神輿は、行きつ戻りつするけれど、確実に前に進みます。この祭りのように、未来の子どもたちにバトンを受け継いで行きたいという思いがしました。それがメディアの仕事でもあると思っています。

本日はどうもありがとうございました。

充実のコーヒーブレイクを合い言葉に…

富士コーヒー株式会社
 本社 名古屋市中区栄西丁目16-27 TEL.(052)251-4321
 営業本部 名古屋市中川区舟戸町6-18 TEL.(052)362-1161
 営業所：中川・豊北・南信・松本

豊田信用金庫 天白支店
 〒468-0053 名古屋市天白区植田南2丁目216番地
 TEL 052-802-5011 FAX 052-805-5027

快適をカタチへ、カタチから空間へ。

株式会社 ホウトク
 〒485-8562 愛知県小牧市上末東山 3509-190
 ☎(0568)47-5800 FAX(0568)47-5804

集いと学び空間をデザインする

愛知株式会社
 教育施設用家具
<http://www.axona-aichi.com>
 〒461-0003 名古屋市東区筒井3-27-25
 TEL (052) 935-6226 FAX (052) 935-6220

フレンズ法人会員紹介

名鉄観光サービス株式会社

- 会社名 名鉄観光サービス株式会社
- 創立 昭和36年4月1日
- 代表者 代表取締役社長 神應 昭
- 本社所在地 名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル)
- 支店数 旅客支店(登録店舗)100カ所
(2012.4現在)
国際貨物支店15カ所
海外事務所7カ所

- 従業員 1,460名(男性1,106名 女性354名)
※2011年11月時点

- 営業種目
 - ・旅行業法に基づく旅行業
 - ・貨物運送取扱事業法に基づく利用運送事業
 - ・両替商
 - ・各種運輸機関の乗車船券類の発売に関する事業
 - ・通関業法に基づく通関業
 - ・各種運送代理業
 - ・郵便切手、収入印紙及び入場券の販売業
 - ・旅行傷害保険代理業務
 - ・輸出入貿易事務代行
 - ・イベント・コンベンションの企画立案
 - ・前各号に関する一切の付帯業務

- 関係会社 名鉄エクスプレス USA
 - ・名鉄トラベル USA.CORP.



- ・碧海観光サービス
- ・めいかん企画
- ・香港百勝旅運有限公司

愛知東邦大学からは2009年に1名と、2010年1名が名鉄観光サービスに入社してがんばっております。経営学部地域ビジネス学科には、名鉄観光サービスOBの杉浦教授が就任されております。

名鉄観光サービスでは、国内旅行・海外旅行・訪日外国人旅行の企画・販売を中心に国内・海外を合わせ8000以上のコースプランを持ち、世界遺産めぐりやリゾートといった定番の旅行はもちろんスポーツイベントやコンサートを核に組み込んだ旅、話題の映画のロケ地をたずねる旅、人気の観光スポットをチャーター便でゆったり楽しむ旅など、すべての方々の感性を刺激するタイムリーなプランがたくさんあります。

文責 フレンズ事務局

mini mini
 お部屋探しは ミニミニ星ヶ丘店 検索
<http://minimini.jp>
 TEL 052-781-3123 FAX 052-781-3124

Rinnai
 リンナイ株式会社
 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号 ☎052-361-8211

電気設備・送電線・地中線 設計施工



川北電気工業株式会社

本社/名古屋市中区栄四丁目6番25号 TEL052-251-7111

<http://www.kawakita.co.jp>

自然と
親しむ会

もう一度春を探しに



昭和 48 (1971) 年に白川小学校馬狩分校が廃校 (白川村立白川小学校 HP) になっています。第一次ベビーブームが去り、豪雪地帯の白川の郷にあった分校は、昭和 40 年代に次々と廃校となりました。過疎化の始まりです。

5 月 12 日 (土) 自然と親しむ会、春の例会はこの白川、馬狩の谷を訪れました。5 月の半ばになろうとするにもかかわらず、冷たい雨が時折降る早春の様相でした。出発地名古屋の天候からは想像を超えていました。

大窪沼に向かう道路沿いに、かつては馬狩分校、村社と民宿『大杉』がありました。今はその跡さえ定かではありません。馬狩分校は門柱が当時の名残を留めているだけです。

大窪沼への道沿いにカタクリが群生しています。残念ですが、うつむき、かがり火のように咲くカタクリには出会えません。どの花もしっかりと花弁を閉じています。冷たい雨を避け、花粉を守るために閉じているのです。花粉が水にぬれると破裂してしまうからでしょうか。

大窪沼の周辺にはまだ雪が残っています。今冬は大雪だったのです。白いミズバショウは、水面に映り、時折明るくなる空の下、その白さが際立ちます。

世界遺産荻町の白川郷からさほど離れていないにもかかわらず、人の気配はありません。白山スーパー林道を車が行きかうのは、あと 1 ヶ月も先のこととなります。それまでは、ここを尋ねる人はいないのでしょうか。

荘川 IC を降りた辺りの沿道は春の様相です。荘川桜は、葉桜になっていたものの、チューリップや八重桜が満開。山の中腹には山桜があちらこちらで咲いています。時をさかのぼり、名古屋では過ぎ去ってしまった春を、もう一度味わうことができた自然と親しむ会でした。



大窪沼にひっそり咲くミズバショウ



校庭への入り口を示す門柱



『村立白川小学校馬狩分校』とハッキリ読める

編集後記

大飯原子力発電所が再稼働となり、1 基も動いていなかった日本の原発が再び稼働し始めました。原発稼働に賛成する地元の意見は理解できます。

ところが、新聞報道によれば、正式に稼働の可否を認める政府の会議が終了し、関電側に連絡が入る前に、「連絡が入った」と作業が始まりました。ある新聞は“勇み足”だったと伝えていました。この勇み足で、再稼働に向けた安全対策の確認が“儀式”として執り行われてきたことが明確になりました。ある報道番組の司会者は、「相撲の八百長メールを思い出させる」とも。原発の安全性に“八百長”。耳を疑います。原発マネーにドブクリ漬からされている現実に寂しささえ感じます。